

教育長の目指す、三原村の保育・教育像

三原村教育長を拝命するにあたり、「三原村教育振興基本計画・三原村教育大綱」(R5～R9)を読ませていただきました。その中の「三原村の目指す子ども像」には、「確かな学力を有し、心豊かでたくましい子ども」とあり、重点とする取り組み・教育の3本柱として、「英語教育」「ICT教育」「地域学」が掲げられていました。そして、「知」「徳」「体」が調和し、グローバル社会を生きぬく力を有する人材の育成、故郷三原村に帰ってきたくなる教育子育て支援、三原村に住みたくなる教育子育て支援を目指す」とありました。

まさに、私が13年前に三原村でお世話になったときに感じ、ずっと思い続けてきた教育方針だと思いました。だから、13年前に私が提案し始まった「11月・三原学びの月」や「保・小・中合同発表会」などの取り組みが、いまだ続けていることを、とてもうれしく思っています。

私が目指す三原村の保育・教育像とは、保護者・保・小・中・村民の皆さんが、一体となって、よってたかって育む「三原っ子」、<三原で育った自分に誇りを持ち、自分の価値観のバックボーンにいつも三原村で培われた価値観がある。村全体で育ててもらったという感覚を持ちながら大人になる。その後、村内で暮らす者は三原村をしっかりと支えていけるし、また、外に出る者も、いつも三原村を気にしている。そんな感覚を持った「三原っ子」>を、村全体で育てていける、そんな保育・教育をつくっていきたいです。

.....このような思いで、これからの教育行政を進めて行きたいと考えています。村民の皆様のご協力をお願いいたします。

6年度 三原村教育委員会 教育行政方針

三原村教育委員会 教育長 布 正人

<それぞれがそれぞれの良さを生かして>

1、「基本的な考え方」

☆保育・教育はバトンリレー。保小中高のつながりを意識して。特に、保育・義務教育のつながりを意識して「今」を大切にしたい。

「つみあげ」を大切にしましょう。もちろん「今」も大切。しかし、「今」すぐに効果が見えなくても、来年の担当にしっかりバトンを渡せる組織としての「あたりまえ」を大切にしましょう。あきらめないで、「あたりまえ」のことを「あたりまえ」に、我慢強く取り組み続ける。そのことが、自分が担当の時ではないかもしれないけれど、いつか花開くと思って取り組みを継続する。それが大きな組織力につながると思います。

<令和5年度の取り組み成果が、令和6年度のスタートラインになります。>

☆ですから、基本的にはR5年度の取り組みを引き継いでいきます。

☆三原村の教育活動の推進に、みんなの知恵を結集してください。それぞれが得意不得意があります。互いに補い合い、知恵を出し合っ

て進みましょう。それぞれの良さを生かしましょう。
みんなで三原村の未来に向かって、助け合い知恵を出し合いながら進みたいと思います
☆憲法及び教育基本法の精神に則り、三原村の教育行政方針に基づいて、三原村の歴史と伝統を受け継ぎ、子どもたちや地域の実態を踏まえて、「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身に付けた人間の育成を目指します。

1、基本理念

人間尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、郷土に誇りを持ち、学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましい人間を育成する。

2、スローガン 「いつも 笑顔で 元気です」～安心して、生き生きと生活できる

⑥ みんなで ⑦ れやかな

居場所づくり～

み ⑧ いに向かって 進もう <⑥⑦⑧の未来をつくるために>

※人権教育の視点と支援の必要な子どもたちへの配慮を忘れない取り組み、
となりの同僚への配慮を忘れない取り組みを進める。

(思いやり算)

※どの職場でも・・・

<+ける、-うける、声×、いた÷>

2、「教育行政方針」及び「重点とする取り組みの概要」について

<スローガン・教育行政方針>について

【いつも 笑顔で 元気です】

・・・確かな学力と規範意識、

豊かな心と健やかな体を育む教育の充実・・・

～安心して、生き生きと生活できる居場所づくりを通して！～

<重点とする取り組み>

(1) 安心して、生き生きと生活できる居場所づくり！

現実は大変です。日々困難と直面しています。そんな中で「いつも笑顔で元気です」なんて、無理だと思えるかもしれません。そうです、これは理想です。しかし、私自身も含めて、いつも心の中には、理想を掲げて、時には「空元気」も出しながら、できるだけ「笑顔で元気」に生きて行けたらと思います。大人の「笑顔や元気」は子どもたちに伝染します。逆に「不機嫌」も子どもたちに伝染します。日々の取り組みの中で、自分への信頼と他者への信頼を確立しながら、「人の頑張りに気づく力」と「人とかかわりを大切にする言動」を磨いて、お互いに認め合って行けたらと思います。そして、みんなで、「子どもたちが来たいと思える園や学校を、人が住みたいと思える村を」つくっていったらいいなと思います。教育委員会は、そのためのお手伝いをしていきます。よろしくをお願いします。

(2) 三原の教育の3本柱

①英語教育 ②ICT教育 ③地域学（ふるさと教育）・・・引き続き大切にしたい。

(3) 「睡眠」の重要性を認識し直す

- ① 急激に増えた「支援の必要な子どもたち」への対応を、「睡眠」の重要性と「脳の発育」の関係で捉え直す。
- ② 保小中連携で「基本的生活習慣」の中でも、「睡眠の改善」について、足並みを合わせて取り組みを進められたらいいなと思っています。

(4) 「笑顔とあいさつ日本一の村」を村内に浸透させたい。村内に「あいさつがあたりまえの空気をつくりたい。」

<保護者・保・小・中・村民 みんなでよってたかって 「笑顔とあいさつ日本一の村」をつくらう、そんな村で大切な「三原っ子」を育てていこう。>

～すべては子供たちのために～